

はじめに

本報告書、フェリス女学院大学 2004 年度共同研究『アジア太平洋におけるジェンダーと平和学—アジア女性の社会的地位—』Vol. 4 は 2001・2002 年度の「アジアの女性の社会的地位に関する研究」と 2003 年度に実施された「アジア太平洋におけるジェンダーと平和学—アジア女性の社会的地位 3—」を引き継ぐものである。過年度の成果は『アジアの女性の社会的地位に関する研究』、『アジア女性の社会的地位 2』および『アジア女性の社会的地位 3』として各年度末にまとめられた。

本(2004)年度は米国を含むアジア太平洋各地で展開されている暴力克服への取り組み実態に加えて、日本社会における「ジェンダー・バックラッシュ」現象の考察やサブシステム志向のジェンダー論にまで研究対象を広げ、私たちの共同課題として分析を試みるとともに対応のあり方を模索してきた。

共同研究の主たる活動として、2004 年 5 月から翌年 3 月まで 7 回にわたる研究会を開催し、下記のような各種報告とそれらをめぐる意見交換を行なった。本年度も海外より 2 名のスピーカーを招待し、貴重な報告と討論の機会を得た。以下に記すのは、その開催内容である。なお、この研究会は関心のある者に広く公開され、電子メディアによる広報を通じて、毎回教員・大学院生はもとより、学部生や卒業生、学外の NGO 関係者等の参加もあったことを記しておきたい。

第 1 回 2004 年 6 月 30 日(水)

題 目：『「脱「開発」へのサブシステム論—環境を平和学する！2』の批判的検討』

報告者：榊原裕美(横浜国立大学国際社会科学研究科博士課程後期)

第 2 回 7 月 20 日(火)

題 目：「開発とジェンダー関係の変容—アジア先住民族女性の経験から—」

報告者：藤岡美恵子(本学非常勤講師、反差別国際運動 IMADR プロジェクト・コーディネーター)

第3回 10月12日(火)

題目：「アメリカのナショナリズムの特色と現代的な意味合い」

報告者：新川健三郎(本学文学部および大学院国際交流研究科教授)

第4回 10月27日(水)

題目：「天の半分を担って～フィリピン女性たちの経験と展望、その闘いと課題そして希望～」

報告者：トレリー・マリグザ(全国女性運動ガブリエラ東ネグロス州代表)

題目：「奴隷の手枷か連帯の結びつきか～対テロ戦争とグローバリゼーションのフィリピンへの影響～」

報告者：ルエル・マリグザ(シリマン大学神学部牧会学科長代行・牧師)

第5回 12月21日(火)

題目：「ジェンダー・バックラッシュの構図 男女共同政策とネオリベラリズム」

報告者：金井淑子(本学非常勤講師、横浜国立大学教授)

第6回 1月31日(月)

題目：「文化継承のための戦略と課題—ニューメキシコ州プエブロの事例から—」

報告者：水野由美子(名古屋大学大学院助教授)

第7回 3月2日(水)

題目：「民衆のコミュニケーションにおける『変化』の意味—フィリピン・ネグロス島内陸部の草の根宗教行事の事例から—」

報告者：平井朗(フェリス女学院大学大学院国際交流研究科博士後期課程)

以上の一連の報告内容を踏まえながらも改めて書き下ろされた論攷の提出を各報告者から受け、英文には和訳を付して本報告書に掲載した。

また末尾にはアジア太平洋地域におけるジェンダー研究と平和学に関連するビデオ資料の目録を付した。これまで収集・蓄積されてきた多数のビデオ(VHS＝アナログ映像)をDVD化する作業も当初より本共同研究の計画に含まれており、これまでに約400本、3000タイトル程度のデジタル変換を進めることができた。授業や研究用にこれら資料の有効活用が望まれるので、希望者は peace@ferris.ac.jp あてEメールにて申し出られたい。

本報告書がこうした共同研究活動のひとつの成果発表にとどまらず、暴力の克服を志してアジア太平洋地域におけるジェンダー研究と平和学に取り組むさまざまな人びとに参考資料として役立てられることを期待する。

2005年3月 共同研究代表者 横山正樹

2004年度共同研究構成員：

井上恵美子 梅本直人 新川健三郎 (以上、文学部)

上原良子 江上幸子 鈴木美南子 高柳彰夫 武田武長 常岡せつ子

横山正樹 (以上、国際交流学部)

内田奈津子 (情報センター)

研究協力者：

伊藤美幸(フェリス女学院大学大学院国際交流研究科博士後期課程)

平井朗(フェリス女学院大学大学院国際交流研究科博士後期課程)

研究補助：

木場紗綾 (同志社大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程前期)

高橋良子 (國學院大學大学院経済学研究科博士課程前期)

横山道史 (横浜国立大学大学院環境情報研究院環境情報学府博士課程前期)